



パラリンピックはオリンピック同様、
すごいスキルをもった人達の真剣勝負。
ぜひ多くの人に観てもらいたい —

赤星 憲広 あかほし のりひろ

1976年4月10日生まれ 愛知県刈谷市出身 芦屋市在住
愛知県立大府高等学校、亜細亜大学卒業後、JR東日本を経て、2001年阪神タイガースヘドラフト4位で入団。2007年には1,000本安打達成。ゴールデングラブ賞6度受賞。俊足を生かしたプレーでチームを牽引するが、2009年試合中のダイビングキャッチで脊髄を損傷し同年、現役引退。現役時代から盗塁した数と同じ数の車椅子を寄贈する活動を続け、引退後は「Ring of Red～赤星憲広の輪を広げる基金～」を設立し、チャリティー活動や社会貢献に力を注いでいる。現在は野球解説者・評論家として、プロ野球解説の他、講演会やイベント、メディアにも多数出演。また、野球界発展を目指し、自身がオーナーを務める少年野球チームを設立。2017年4月から関西大学人間健康学部客員教授に就任。2025年万博博覧会誘致委員会スペシャルサポーターに就任するなど、現在も活躍の場を広げている。

問い合わせ 広報国際交流課 ☎38-2006

1人でも多くの人に 車椅子を届けたくて

「301」この数は赤星さんが阪神タイガースの選手時代に車椅子を必要とする人たちへ寄贈した車椅子の数。

「盗塁を1つするたびに1台寄贈することができる。現役時代に盗塁をする私のモチベーションになっていましたよ」と笑顔の赤星さん。

この活動のきっかけとなった、ひとりの女性の存在を話してくれました。

「プロになったばかりで、ほとんど無名だった私を熱心に応援してくれる女性がいました。その女性は重い病を患っており、手術後は車椅子が必要な生活になるので、彼女へ車椅子をプレゼントすると約束しました。ですが病は重く、残念ながら彼女が生きているうちに車椅子を渡すことは叶いませんでした。その時の出来事がきっかけになり、車椅子を必要とする人へ、1人でも多く届けることができればと思い、この活動を始めました。」

赤星さんはプロ野球選手を引退した後も『Ring of Red基金』を設立し、この活動へ賛同する仲



間を募り、今では686台の車椅子を全国各地へ寄贈しています。他にも今年で6回目を迎えるチャリティーを目的とした「小野市ハーフマラソン」の大会会長を務めるなど、積極的にチャリティーやボランティア活動を続けています。

「活動を続けるなかで、本当はチャリティーやボランティアに興味がある人も、慈善活動へ参加することの気恥ずかしさから、参加していない人が多くいることを知りました。私がこの活動をすることで、そんな人達が参加するきっかけになれば嬉しいと思っています。例えば、街中には障がいのある人もない人も気兼ねなく入ることができる飲食店が沢山あり、街で困っている人を見かけたら自然に手を差し伸べる人達がいて、ボランティアやチャリティーに参加することが当たり前、そんな社会になってほしいと思っています」と溢れる熱い想いを語ってくれました。

来年はオリンピックイヤー パラリンピックも応援したい

今、赤星さんが熱心に活動されていることをたずねてみました。

「パラリンピック競技の周知活動です。そういう意味では、来年日本でパラリンピックが開催されるので絶好の機会だと思っています。私が出ているテレビのコーナーでは、パラリンピックの選手や競技などを取材し積極的に紹介しています。現役時代から車椅子の寄贈活動を通じて、障がいのある人やパラリンピック選手との交流があり、自然とパラリンピックに注目するよう

になりました。引退後はテレビなどの取材を通じて更に交流が増えることで、パラリンピックを目指す人たちへの練習環境の悪さに気がつきました。そこで私が動くことで少しでも選手の実環境改善に繋がればと思い、サポートしてくれる企業が無いか探したり、働きかけをしていますが、まだまだ環境が整っていないのが現状です。そんな中でも、選手たちは日々の練習を工夫しながらトレーニングに励んでいます。本当に凄い精神力だと感心します。パラリンピックはオリンピックと同様に、すごいスキルをもった人達の真剣勝負です。ぜったいに面白いので、多くの人に観てもらいたいです。」

芦屋は全ての人が住みやすい街であってほしいと思います

「現役時代から芦屋市に住んでいますが、人も環境も本当に良く住みやすい街だと思います。全国的に知名度も高く『芦屋市ってどんな街だろう』と注目されることも多いと思うので、いろいろなことが進んでいて、全ての人が住みやすい街であってほしいと思います。そのために私に何か出来ることがあれば、ぜひお手伝いしたいと思っています。」
と嬉しい申し出をいただきました。

赤星 憲広 オフィシャルサイト
Ring of Red
～赤星憲広の輪を広げる基金～



Ring of Red への参加・活動など
詳しい内容はホームページをご覧ください

